

特定非営利活動法人 環境の杜こうち 2008年度第15回理事会議事録

- 1 日時 2008年8月9日(金) 13時30分～15時30分
会場 こうち男女共同参画センター プライベート室
- 2 理事総数および出席者数
理事総数 15名 出席者数 8名
出席理事 石川、吉井、岡谷、兼松、小松、橋本、松本、谷地森
事務局 橋田、上田、近藤、松本
- 3 議長 議長 _____ 印
- 4 議事録署名人 議事録署名人 _____ 印 ・ _____ 印
- 5 議事録作成人 事務局(上田 史)

議長に全員一致で理事長を承認した。議事録署名人は橋本理事、松本理事、議事録作成は事務局とすることを全員一致で承認した。

6 議事

検討事項第1号 環境の杜こうちの広報戦略について(資料1)

吉井理事より第12回運営委員会の報告の後、広報をどう考えるか、ミッションやターゲット等について議論したが、大きな方向性を確認するには至らなかった。

[意見] ◇「広報が足りない」という前提で議論をしているが、果たしてそうだろうか？何を持って足りないと言っているのか、現状に対する評価がなされていない状況では、どこが足りないのかが分からない。

◇いま方向性を決めることは難しいのでは。現状では事業毎に様々な手段やターゲットを試しつつ、効果的と思われる方法を探ることしかできないだろう。

◇今ある事業を「広報」という視点で見直してはどうだろう。看板になるようなイベントを定番化し、継続して開催することも知名度を上げるには有効だ。

◇広報推進部会のような組織を立ち上げ、しっかりと広報戦略を立てた方が良いという意見がある。

◇広報推進部会は例えば新聞・テレビ等の関係者に協力してもらい、我々も情報を提供しながら、一緒に広報に取り組んでいくのはどうか。その場合はしっかり予算化して、費用をかけた方がよいのではないかと。

決定事項 ◇ 広報部会(仮称)を立ち上げることが了解された。

◇ 部会にはマスコミ関係者等、広報に詳しい専門家にも加わってもらうことを検討する。人選等については運営委員会で決定をする。

◇ 予算が必要であれば次回理事会に諮ることとする。

検討事項第2号 高知県地球温暖化防止県民会議について(資料2)

事務局橋田より報告の後、意見交換をした。

参加企業・団体の募集について

8月1日より参加募集を開始し、県内の団体・企業訪問をしている。団体は参加決定には理事会にかけなければならないという事情もあり、設立総会までに返事をもらえない場合もあるかと思う。

[質問] ◇ NPO・団体関係はどの程度集まっているか？

→環境の杜こうちの会員に呼びかけ、今のところ黒潮生物研究財団から参加表明をもらっている。ぜひ会員みなさんにそれぞれの活動で加わっていただきたい。

環境の杜こうちとしてどう関わるか

◇ 県民会議は、企業への影響力を持てる組織になるのではないかと。そういう力をい

かに持てるかが活動の目標にもなると思う。そこにセンター部会がどのように食い込んでいけるかが期待される。

- ◇ 県民会議には、法律や条例等を動かすことができるような期待を持っている。
- ◇ 高知県センターの指定はあと1年で終了するのでは？
→センター指定に特に期限は設けられていない。
- ◇ 高知県センターの指定が県民会議の方に移る可能性はあるか。
→その可能性はあるかも知れない。環境の杜こうちは県民会議に一会員として関わるといこともできる。

高知県地球温暖化防止活動推進センターと県民会議の関係について

[意見] ◇ 県民会議は基本的に部会を立ち上げ活動していくそうだが、既に高知県地球温暖化防止活動推進センターでやっている事業と県民会議の部会での取組みとは分けるのか。重複する場合はどうなるのか。

→レジ袋削減運動などは、県下に広げるためには県民会議で取り組んだ方が効果的だとも考えられる。センターで実施したほうがよい取組みと、県民会議の方がよい取組みとを考えていくことが必要だろう。

- ◇ センターの業務と、県民会議の取組みとが相乗効果でうまく行くというのが理想。

決定事項

センター部会で県民会議との関わりについて話し合い、事業をどう区分するかを検討して、運営委員会に諮ることが了解された。

報告事項第1号 会員について

事務局長より報告した。

報告事項第2号 平成20年度事業報告について（資料3）

平成20年度事業経過報告および収支報告について事務局長より報告した。

プロジェクト担当者確認表について（資料3-1）

[説明] ◇ ◎は主担当、○はサポートスタッフを表す。50/50事業の右端のスタッフ松本さんは橋本さんの誤り。

- ◇ 事務局は場合によってはスタッフとして働く場合と、連絡係という2つの場合があり、プロジェクトによって変わる。

[意見] ◇ 『いきものみつけ』事業には温暖化防止センター部会からもサブリーダーとして加わって欲しい。

事業経過について（資料3-2）

[説明] ◇ 講師派遣は1年を4期に分け、各期10件まで受付ける。但し10件に満たなかった場合は次期に繰越す。できるだけ多くの方に講師派遣を利用して欲しい。

- ◇ 学校移動博物館について。実施は土佐清水市（調整中）、宿毛中学校、東津野中学校、大野見中学校（調整中）、大栃中学校、吉良川中学校の6校を予定。

◇ いきものみつけについて。JCCCAからの委託事業。地球温暖化と生き物を絡め、県民に参加してもらいながら生き物を探す企画。高知ならではの生き物を選定しなければならず、早急にJCCCAと相談して種を選定し、秋～冬にかけて生き物探しを始めたい。

- ◇ 50/50事業について。参加校の目標は50校。先生等に声をかけてください。

◇ 温暖化防止フォーラムについて。日程を9月27日に訂正。企業サイドに呼びかけることを念頭において開催したい。

報告事項第3号 第3回外部評価委員会について（資料）

第3回外部評価委員会について事務局長より報告した。

報告事項第4号 その他：2008年度理事会日程について

次回理事会は10月18日午後を候補に調整することが了解された。